

# 製品安全データシート

## 1. 製品および会社情報

製品名：日本薬局方 無水エタノール  
会社名：今津薬品工業株式会社  
住所：〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-19  
担当部門：本社営業部  
電話番号：03-3255-0211  
FAX番号：03-3255-3490  
整理番号：105-02

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品  
化学名または一般名：エタノール  
別名：エチルアルコール  
含有量：99.5 容量%以上  
化学特性(化学式)： $C_2H_5OH$   
官報公示整理番号：化審法 ;2-202  
安衛法 ; 公表  
CAS No.：64-17-5  
危険有害成分：エタノール

## 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：引火性  
人の健康に対する有害な影響：〈吸引した場合〉

- ・ 麻酔剤として働く。
- ・ 頭痛、身震い、眠気、吐気、食欲不振をおこす。

〈皮膚に付着した場合〉

- ・ 毒性はないが刺激作用がある。
- ・ 粘膜を刺激する。

〈目に入った場合〉

- ・ 刺激作用がある。

〈飲み込んだ場合〉

- ・ めまい、感覚鈍麻、頭痛。

環境への影響：化審法既存点検によれば、微生物等による分解性が良好と判断される。  
物理的および科学的危険性：引火しやすい液体で、蒸発は空気と一定量混合すると、爆発性混合ガスとなる。火災の熱で容器が爆発することがある。揮発性物質で、屋内、屋外または下水溝中で火災爆発の危険性がある。  
分類の名称：引火性液体

#### 4. 応急措置

- 吸引した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布などでおおい、保温して安静に保つ。医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。洗眼の際には、まぶたを指でよく開いて、眼球。まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水または食塩水を飲ませて吐かせる。意識がないときは何も与えてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、初期には霧状水も可。
- 使ってはならない消火剤 : 普通の泡消火剤、また棒状に出る水は燃えているアルコールを広げてしまうので使用してはいけない。
- 特定の消化方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消化を行なう者の保護 : 消火活動は風上から行ない、有毒なガスの吸引を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を避難させる。こぼれた場所はすべりやすいので注意する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 除去方法 : 漏出源を遮断し漏れを止める。少量の場合は、乾燥土、土おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

##### 取扱い

- 技術対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸引しないように適切な保護具を着用する。火気厳禁。作業場所の換気を十分に行う。
- 注意事項 : 静電気対策のために、装置、器械等の設置を確実にこなう。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。工具は

火花の出ないものを使用し、照明等には必ず防爆装置のあるものを使用する。野外での取扱いはできるだけ風上から作業する。

安全取扱い注意事項 : 酸化剤と接触させない。

保 管

適切な保管条件 : 貯蔵場所の電気設備はすべて防爆装置とし、スイッチ、電動機等は室外に設ける。通風をよくし蒸気が滞留しないようにする。容器は密栓して冷暗所に保管する。また、非危険物との混合貯蔵については、原則禁止であるが、例外として危険物以外の可燃物固体類または可燃性液体類とを貯蔵する場合はそれぞれとりまとめて貯蔵し、かつ相互に 1m 以上の間隔を置く場合には、貯蔵することができる。

## 8. 暴露防止および保護装置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会;設定されていない  
ACGIH(2004年);1000ppm、1880mg/m<sup>3</sup>(TLV-TWA)

保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)、または送気マスク

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚および身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

保護具

## 9. 物理的および化学的性質

形状 : 液体

色 : 無色

臭い : 特異臭

沸点 : 78~79℃

融点 : -117℃

引火点 : 14℃

発火点 : 363℃

爆発限界 : 3.3~19%(v/v)

蒸気圧 : 58hPa(20℃)

蒸気密度 : 1.59

密度 : 0.794~0.797g/ml(15℃/15℃)

溶媒に対する溶解性 : 水、アセトンおよびエチルエーテル等、ほとんどの有機溶媒と任意の割合で融和する。

オクタノール/水分解計数 : logP<sub>ow</sub>; -0.32

## 10. 安定性および反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
- 反応性 : 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
- 避けるべき条件 : 日光、熱、酸化剤との接触
- 避けるべき材料 : 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂、ポリスチレンなど
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 : マウス(経口)LD<sub>50</sub> :3,450mg/kg  
ラット(経口)LD<sub>50</sub> :7,060mg/kg  
マウス(吸入)LC<sub>50</sub> :39g/m<sup>3</sup>/4h  
ラット(吸入)LC<sub>50</sub> :20000ppm/10h  
ラビット(経皮)LDLo:20g/kg
- 局所効果 : 刺激性  
ラビット(皮膚)20mg/24h Moderate  
ラビット(眼)500mg/24h Mild
- 慢性毒性・長期毒性 : この液体は皮膚の脱脂を起す。この物質は上気道および中枢神経系に影響を与え、被刺激性、頭痛、疲労感を生じ、集中力が欠如することがある。エタノールを長期間に摂取すると肝硬変を起すことがある。
- 変異原性 : 微生物;サルモネラ菌(+S9);陽性  
染色体異常;ハムスター(生体外);陽性  
小核;マウス(生体内・腹腔内);陽性

## 12. 環境影響情報

- 残留性/分解性 : 微生物などによる分解性が良好と判断される物質である(化審法既存点検)。
- 生態毒性 : コイの1種 LC<sub>50</sub>:18~13.4g/96h

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項に従った上、アフターバーナーおよびスクラッパーを具備した焼却炉で焼却処理を行なう。  
または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
- 汚染容器 : 空容器は、水で十分に洗って、爆発性ガスを完全に除いてから廃棄する。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国内規制

- 消防法 : 第 2 条危険物第 4 類引火性液体アルコール類(400ℓ)  
船舶安全法 : 危規則第 3 条危険物告示表第 5 引火性液体  
航空法 : 施行規則第 194 条危険物告示表第 3 引火性液体  
国連分類 : クラス3(引火性液体)  
国連番号 : 1170

輸送の特定の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損  
および条件 : がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。直射日光を避ける。  
消防法の第 1 壘および第 6 類との混載禁止。

#### 15. 適用法令(「2.組成、成分情報」、「14.輸送上の注意」で述べた法規はこの項では除く)

- 化学物質管理促進法 : 非該当  
日本薬局方 : 第 15 改正日本薬局方記載品目

#### 16. その他の情報

- 引用文献 : [第 9 版]アルコールハンドブック、通商産業賞基礎産業局アルコール課監修、  
技術堂出版(1997)  
14705 の化学商品、化学工業日報社(2005)  
化学品安全管理(MSDS)データブック、大島輝夫 監修、化学工業日報社  
(2000)  
国際科学物質安全性カード(ICSC)日本語版、厚生省生活衛生局企画課生活  
科学安全対策室、化学工業日報社(1999)  
溶剤ハンドブック、浅井照三 他編、講談社(1976)

※この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分注意してください。

なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

また、含有量、物理・化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。